

第12回

看取り・葬送事業学習会

参加費
無料

成年後見制度が申し立てられる現場から

労働者協同組合・結の会（ワーカーズ葬祭&後見サポートセンター）では、葬送支援事業を行うと同時に、後見問題にも関わっています。

2025年には、認知症・精神障がい・知的障がいで、判断能力が不十分になる方は推定で100万人になると見込まれており、国は成年後見制度の利用を推進しています。そこで、2023年2月と3月は、後見制度と家族の会代表・石井靖子さんから「後見される側」の声を聞き、学びを深めました。

引き続き5月の勉強会は、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム・多賀努さんより、成年後見制度の適切な利用を促進するための中核機関（制度の周知・研修等の人材育成・後見の必要判断・後見人のマッチング・後見人の支援・機関間連携のコーディネート等）の委員として、後見の必要を判断する会議体に参加し、どのような経緯で申し立てられ、どのような議論を経て必要と判断されるのか、間近に見て来られた経験をお聞きします。

関心のある方は、どなたでも参加出来ます。奮ってご参加下さい。

日時

2023年

5月22日 月 18:00-20:00

ワーカーズコープ本部 A会議室

（豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル8階）

+ オンライン参加

URL <https://us02web.zoom.us/j/89883649274>

講師

多賀 努さん

（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム）

申込

Mail : nakashita@athena.ocn.ne.jp

労働者協同組合・結の会（ワーカーズ葬祭&後見サポートセンター） 中下 宛
※お名前、メールアドレス、所属、会場参加かオンライン参加かをお知らせください。後日、お申し込みのアドレスに受付完了のメールをお送りします。

主催

日本社会連帯機構、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
センター事業団、しんきん成年後見サポート、社会連帯TOKYO
労働者協同組合「結の会」

後援

後見制度と家族の会